

令和2年度 ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	地球環境と産業化研究会		
団体の所在地	神戸市北区	代表者名	伊熊 敏郎
1. 事業名	「環境先進地」実現のためのグリーンイノベーション推進支援組織の立ち上げ － 組織の維持運営 －		
2. 実施期間	令和2年4月1日～令和3年3月6日		
3. 主な実施場所	オンライン(Zoom)		
4. 活動形態	<ul style="list-style-type: none"> ・団体立ち上げ ・普及啓発活動 ・実践活動 ・調査活動 ・環境パートナーシップ事業 (協働団体名:) ・その他 () 		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>(1)地球環境と産業化研究会の維持運営:立ち上げ後の事業企画・運営のための役員会等 9回, 会員 17, 評議会委員 5, 賛助団体 3</p> <p>(2)第5回勉強会『日本は「今後、木質バイオマスをどう利用すべきか?」』(実施日 10/21):参加者 19(申込数 21)</p> <p>(3)第6回勉強会『高効率太陽光発電や紫外光応用技術などの地球環境対策を学ぶ』(実施日 9/14):参加者 12(申込数 18)</p> <p>(4)第7回勉強会『これからの省エネが目指す姿、新たな省エネビジネスとは?』(実施日 2/3):参加者 17(申込数 17)</p> <p>(5)再生可能エネルギーの基礎講座『やさしい技術講座「おしえて? わかった! 再生可能エネルギー」(第1回～第3回)』(実施日 11/25, 12/23, 1/27):各回の参加者 14, 15, 13(申込数 16, 20, 21)</p> <p>(6)再生可能エネルギーの基礎講座『スペシャルセミナー「身近にある再生可能エネルギー利用事例を知ろう」』(実施日 2/24):参加者 19(申込数 22)</p> <p>(7)神戸地域ビジョン委員会(地球いたわりグループ)との連携による特別セミナー「コロナ感染症と地球環境問題について神戸市民と考える」(実施日 12/2):参加者 38</p>		
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>脱炭素/RE100 についての勉強会や学習会などを開催することで、企業や地域などの有志(参加者の延べ人数 109)との地球環境問題を学ぶ機会が創出され、「環境先進地」の実現に向けた「グリーンイノベーションの推進」への取り組みの輪を広げていくことができた。勉強会や学習会のアンケート回答者ほぼ全員から、各回の内容と運営についてともに「非常に良かった」「良かった」との評価を得ている。</p> <p>反省点には、(1)コロナ禍のため、会議室などを使用していたイベントを急遽開催を中止・延期する事態となったことや(2)オンライン方式でのイベント開催のみとしたため、エネルギー・環境施設の見学や対面での情報交換(昨年度は勉強会など同日に情報交換会を開催)が実施できなかったことなどにより、幅広い交流のための機会が失われたことなどが挙げられる。</p>		
7. 成果物	なし		
8. 活動写真説明 (20字以内)	写真①～③に「第5・第7回勉強会と再エネ基礎講座の様子」を写す(オンラインのためパソコン画面のスクリーンショット) ※「 」が活動写真説明(文字数:20字)		

写真①
第5回勉強会
(2020/10/21)



写真②
第7回勉強会
(2021/2/3)



写真③
再生可能エネルギー
基礎講座
(2020/11/25)

